

身元不明のまま身柄を保護している方の情報(令和7年5月1日現在)

No	性別	推定年齢	京都市が保護した時期	保護の経緯	身元に関する情報、身体的特徴等 (太字のものは本人の申出のみで客観的証拠なし)	現在の状況
1	男性	70代	平成16年5月	各地の飯場を転々とした後、仕事を求め京都に来て下京区内で路上生活を送る。平成16年6月、自ら京都市に保護を求める。	昭和26年12月3日生。滋賀県栗東市出身。熱中症で倒れた際に一部過去の記憶を失う。両親はすでに死去、兄弟なし結婚歴なし。身長165センチ体重70キロ血液型A型。右下腹部に盲腸の手術痕あり。	在宅 (別添1-1、1-2)
2	男性	40代	平成29年11月	JR京都駅の新幹線改札口を突破しようとしたところを警備員により身柄確保される。その後、医療機関入院を経て施設入所となる。	身長170.0センチ、中肉、中背。発見時の服装は黒のスウェットの上下、半袖のカーディガン、サンダル。所持品、所持金なし。氏名、年齢、居住地等を聴取するも、身元を特定できていない。	在宅 (別添2-1、2-2)
3	男性	40代	令和4年5月	長らくホームレス生活を送り、5年ほど前から南区周辺にて路上生活を送っていた。公園で、下肢の炎症によりほとんど歩けない状態でいたところ、従来から面識のあったホームレス支援団体と相談して119番。救急搬送され、そのまま入院となる。 (診断名：蜂窩織炎)	昭和48年7月14日生。福岡県行橋市出身。身長約175センチ、肥満。きょうだいなし、両親の氏名・生年月日を含めた公用請求、出身校への調査を行うも、身元を特定できていない。 中学卒業後、25歳まで行橋市で生活。その後は、アルバイトで生計を立てながら全国各地を転々とし、20年以上ホームレス生活を送ってきた。	在宅